

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-302
----	------	-------	-----	--------

事業コード		事務事業名	救急通報時の口頭指導事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	通報者及び周辺にいる人に対して
手段	通報時に口頭指導をし、救急行為を行わせることによって
想定する成果	救命率の向上を図る。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
年間救急件数	2 4 4 3 件	2 5 5 4 件	2 6 0 0 件
うち心肺停止患者数	8 1 人	7 3 人	7 5 人
心肺蘇生に対する口頭指導件数	2 2 件	1 8 件	2 5 件

目標値

成果指標名	口頭指導実施率
成果指標の説明	口頭指導件数 / 心肺停止患者救急件数 × 1 0 0

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	33.3%
	実績	27.2%	24.7%	-
事業費	事業費	4,640,975	4,291,776	4,038,122
	人件費	20,572,800	20,059,200	20,392,800
	(人数)	2.4	2.4	2.4
	合計	25,213,775	24,350,976	24,430,922
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	25,213,775	24,350,976	24,430,922

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	3	口頭指導することによって一定割合は実施がされている。
効率性	6	6	本事業は効率性については評価しにくい。
公共性	6	6	市が実施すべき事業である。
緊急度	10	10	継続的に毎年実施すべき事業である。
小計	28	25	
市民参加度	10	3	市民が救急法を習得して万一来に備えるべきである。
合計	38	28	
総合評価	B	B	口頭指導で手順を説明しても、実際に心肺蘇生を行った方は少ない。

これまでに実施した改善点

達成度	学校、職場、地域毎に救急講習会の開催に努めた。
効率性	
公共性	
緊急度	
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	一年間通じて救急講習を開設し参加を募る。
効率性	消防だけの指導ではなく、救急ボランティアの指導者養成に務める。
公共性	
緊急度	
市民参加度	一戸に1人以上の方の救急講習会への参加を促す。